

情報公開用文書 (単施設研究用)

西暦 2026年 3月 13日 作成
(第2版)

研究課題名	精神科病床を持たない総合病院における多量飲酒疑い患者の ケアプロセスの実態 —SBIRTS の枠組みに基づく後方視的診療録調査—
研究の対象	2025年6月1日から2025年11月30日の間に、横浜南共済病院へ 救急搬送または入院された患者さんのうち、診療録に「多量飲酒」「大量飲酒」「ア ルコール依存」「アルコール使用障害」「アルコール離脱」などの記載があり、飲 酒に関連すると考えられる症状で受診または入院された方を対象とします。
研究の目的	多量の飲酒が疑われる患者さんは、けがや体の不調をきっかけに一般の病院を 受診されることが多い一方で、飲酒の問題に対する支援や専門治療につながり にくい現状があります。本研究では、当院において多量飲酒が疑われる患者さ んに対し、来院時から入院中、または帰宅に至るまでに、どのような対応や 支援が行われているかを診療録をもとに振り返り、今後のより良い医療や支援 体制づくりに役立てることを目的としています。
研究の方法	本研究は、過去の診療録（電子カルテ）に記録されている情報を 用いて行う後ろ向きの研究です。新たな検査や治療、患者さんへの追加の対応 は行いません。通常の診療の中で記録された情報をもとに、飲酒に関する評価 や対応の状況について検討します。
研究の期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2026年 10月 31日
研究に用いる 試料・情報の種類	【試料】 本研究では、試料（血液や組織など）は使用しません。 【情報】診療録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・年齢、性別・既往症、合併症、服薬歴・来院の経緯（救急搬送の有無、受診理由など）・身体の状態や検査結果（血液検査など）・飲酒に関連する症状や経過（離脱症状、せん妄など）・入院の有無や入院期間・専門職（精神科・リエゾン等）への相談状況・再受診や再入院の有無
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との試料・情報の授受はありません。

<p>個人情報の管理</p>	<p>収集した情報は、氏名や患者 ID、生年月日など、個人を直接特定できる情報を削除したうえで扱います。研究用のデータは、個人を特定できない形に加工し、院内の限られた研究者のみがアクセスできる環境で厳重に管理します。</p>
<p>試料・情報の管理 について 責任を有する者</p>	<p>研究責任者：横浜南共済病院 看護部 看護管理室 リエゾン精神看護専門看護師 永田 加奈子</p>
<p>利益相反</p>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究に関して、研究結果に影響を及ぼす可能性のある利益相反（企業等からの資金提供や個人的な利害関係）はありません。</p>
<p>研究組織</p>	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜南共済病院 看護部 看護管理室 永田 加奈子</p>
<p>本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記の連絡先まで電話またはFAXでお申し下さい。 本研究では、過去の診療情報を用いるため、患者さんお一人おひとりから文書による同意はいただいております。本研究への情報の利用を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、今後の診療において患者さんに不利益が生じることは一切ありません。</p>	
<p>問い合わせ先 〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 電話 045-782-2101（代表） （平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで） FAX 045-701-9159 連絡先対応者 看護部看護管理室 リエゾン精神看護専門看護師 永田 加奈子 *お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	